

北海道のマッターホルン ブナ林の北限の山

百松山岳会 / 道央

今野 平支郎



頂上直下の急登を見上げる

地球温暖化で百年後には立ち枯れてしまうのではないかと危惧されているブナ林は、北海道渡島半島の付け根の黒松内町に北限がある。ここに地元の人が「北海道のマッターホルン」と呼んで親しんでいる黒松内岳がある。遠くから見ると、左右対称に迫り上がって、少し太ったマッターホルンに見えなくもない。

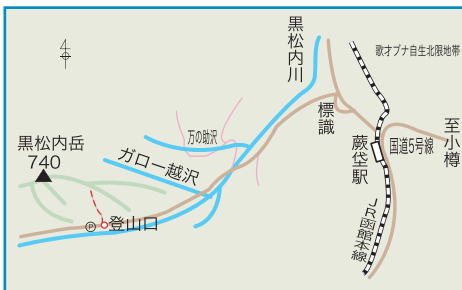
札幌から国道5号線（札幌〜小樽〜函館）を、ニセコ山系と羊蹄山の間を南下する。この国道は比較的空いており走りやすい。小樽から24 kmのところの右に、黒松内町に入る分岐がある。JRの高架を渡り400 m進んで左に分岐する道を入り、更に100 mほど進むと左側に林道が伸びている。入り口に駐車場があり「黒松内岳登山道入口」の看板が出ている。ここから林道に入り5 km進むと登山口がある。林道の途中に大きな分岐があるが左側の沢筋を進む。登山口から少し急な登りがあるが、距離も短くそう大きなアルパイトを要さない。ここはブナの北限と言われるところで、まもなく



ブナ林北限の散策コース

回りにブナの林が見えてくる。春はカタクリなど30種類の高山植物が咲き誇る。何よりもブナの新緑が目まぶしい。秋には黄褐色の見事な黄葉が見られる。山菜も豊富で、タケノコ、ワラビ、フキ、行者ニンニク、キノコなど多彩だ。山菜を目指して登る人も多いと聞く。頂上直下は、マッターホルンに登るほどではないが、急な所にはロープが張ってある。

頂上からは、西に大平山（1191 m）、南西側に長万部岳（972 m）、東に写万部山（499 m）などが望まれる。そして渡島半島の付け根に位置するだけに、太平洋と日本海を同時に眺められるのが魅力だ。



- ④ 登山口 > 120分 > 頂上 > 90分 > 登山口
- ⑤ 国道5号線 > JR高架上 > 林道 > 登山道入口の標識から林道を5km進むと登山口 駐車場10台ほど
- ⑥ 黒松内町役場 0136-72-3311
- ⑦ 黒松内温泉ふなの森 500円
休館第1（冬期は第1・3）水（祝祭日の場合は翌日）
0136-72-4566
- ⑧ 大平山
- ⑨ 参考タイム ⑩ 交通 ⑪ 問い合わせ ⑫ 立ち寄り湯 ⑬ 地形図